

会 議 録

- 1 名 称 北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会
令和6年度 第2回委員・専門委員合同会議
- 2 会議種別 付属機関
- 3 議 題 議題1 令和6年度 第三者評価事業 事業報告について
議題2 令和7年度 第三者評価事業 事業計画について
議題3 令和7年度 評価基準について
- 4 開催日時 令和7年 2月19日(水) 13:30~15:30
北九州市役所 3階 大集会室
- 5 会議の公開 非公開
- 6 出席者
(第三者評価委員 委員総数12名中)
阿南委員・尾家委員・大村委員・酒井委員・白井委員・田中久美子委員・
田中美樹委員・野中委員・三宅委員・村上委員・吉住委員
計11名
(専門委員 委員総数11名中)
伊勢委員・上村委員・後藤委員・櫻井委員・高松委員・通山委員・寺田委員・
友納委員・平田委員・深堀委員・松本委員
計 11名
(事務局)
・子ども家庭局子ども家庭部子ども家庭部長 右田 圭子
・子ども家庭局子ども家庭部こども施設企画課指導管理係長 竹中 陽子
・子ども家庭局子ども家庭部こども施設企画課主査 加藤 理恵
計 3名
- 7 議事の概要(意見交換要旨)
議題1 令和6年度第三者評価事業 事業報告について

<令和6年度の参加状況について>
・保育所から通常評価に2施設
地域型保育事業から、家庭的保育事業所2施設、小規模保育事業所1施設
再評価を保育所2施設の計7施設が参加した。

<通常評価への参加状況について>
・通常評価では、2回目の参加施設があった。今後、増えてくると思われる。

- ・地域型保育事業所からは、家庭的保育事業所の参加が定着し、毎年参加がある。

<再評価への参加状況について>

- ・2施設が参加した。
- ・2施設とも書面評価を行う。

<フォローアップ研修会について>

- ・保育所、地域型保育事業所に区別せず、全保育施設を対象に開催した。
- ・昨年に引き続き、事後アンケートの取組はQRコードを読み取って行う方法を活用した。
- ・紙のアンケートも準備する。今回も数名の利用者がいた。
- ・アンケート結果、「実践発表の取組は、毎年、継続してほしい」「評価基準の説明が良かった」「講演内容がわかりやすかった」など好評だった。
- ・開催方法については、集合型、オンデマンド等を活用した方法のどちらでもよいがほぼ半数、残りは集合型、オンデマンド等を活用した開催が半々だった。

議題2 令和7年度第三者評価事業 事業計画

- ・3月の施設長会で第三者評価事業への参加について呼びかけ、募集案内を配布する。募集期間は、4月1日から15日までの2週間とする。「令和7年度北九州市児童福祉施設等評価基準」は全施設へ配布する。
- ・地域型保育事業所からの参加率が少しずつ増加しているため、さらに参加への呼びかけを強化し、参加しやすい工夫をしていく。
- ・再評価に関しては、効率化の観点からも書面で行える施設に関しては、書面での評価を行っていく予定。
- ・来年度の委員会は例年通り5月と2月に開催予定。
- ・フォローアップ研修会については、令和8年1月に開催を予定している。開催方法は、令和6年度のアンケート結果を参考にする予定。

議題3 令和7年度の評価基準の作成における改正

- ・監査と重複する部分を整理する。
- ・(19)を子どもの権利を尊重する保育 (20)をジェンダー平等の理解に改定。
- ・北九州市の保育施設として同じ方向性を持つという意味から「北九州市児童福祉施設等」評価基準(保育所等編)として一本化する。

8 傍聴者数 0名

(問い合わせ先)

子ども家庭局保育課 加藤・竹中
TEL093(582)2413